

# インターロッキングブロック舗装 Technical Report － 出来形および品質管理編 － (その1)

Vol.58

## 1. 管理の考え方

舗装工事においては、受注者が施工管理（工程，出来形，品質）を行い、その成果の判定のために発注者が検査を行います。したがって、受注者および発注者ともその意義を十分理解したうえで、管理を実施します。

管理および検査の実施フローと実施主体を図1に示します。

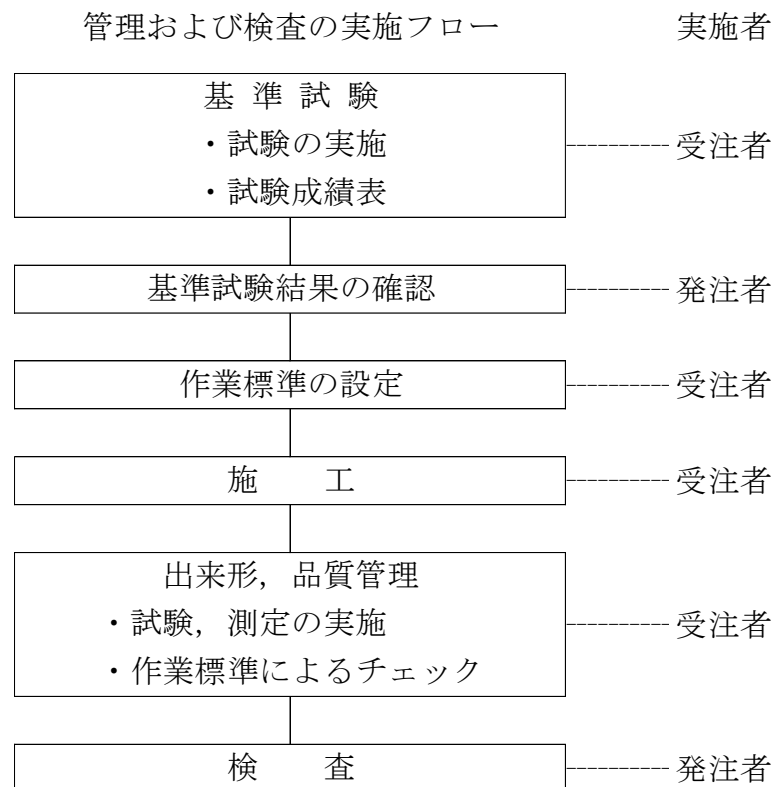


図 1 管理および検査の実施フローと実施主体

## 2. 管理水準の設定

出来形および品質の管理水準は表1に示すとおり、適用箇所や道路の交通量に応じて適切に管理水準のランクを選択して行います。出来形管理項目の例を表2に、品質管理項目の例を表3に示します。

表 1 適用箇所と出来形・品質の管理水準

ILブロック舗装の交通量区分			管理水準	
大分類	中分類	小分類		
歩車道	歩道	歩行者系道路(IL1)	歩行者系道路,自転車専用道路,自転車歩行者専用道路,公園内道路,広場	C
		乗用車乗入れ部(IL2)	駐車場,歩道などの車両乗入れ部(乗用車対象)	C
	車道	交通量の少ない道路(IL3)	最大積載量39kN以下の管理用車両が走行する道路(大型車・小型貨物自動車対象)	C
			消防自動車乗入れ部	B
		交通量の多い道路(IL4)	普通道路N <sub>4</sub> ~N <sub>6</sub>	A
			小型道路S <sub>4</sub>	A
産業ヤード	特定箇所(IL5)	コンテナヤード,空港エプロン	A	

以上